

第2章 景観誘導基準と手法

- I 共通事項
- II 建築物
 - 1. 全体計画・配置等
 - 2. 屋根の形態意匠及び素材
 - 3. 外壁の形態意匠及び素材
 - 4. 屋上工作物等・附帯設備
 - 5. 敷際
 - 6. 駐車・駐輪場、ごみ置場
 - 7. 植栽
- III 工作物
- IV 開発行為
- V 屋外広告物

I

共通事項

本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するように努め、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮すること

潤いのある景観

市南部から北部にかけて河川、平野、丘陵と移り変わっていく本市の地形上の特性を活かした、緑豊かで、潤いのある景観をまもり、はぐくむとともに、身近な場所においても緑化をすすめるなど、潤いのある景観をつくり、はぐくみましょう。



丘陵端部に位置する円山町。春の季節は桜並木が美しく、坂の上から市街地を見下ろす眺望を楽しむことができる。



本市の南端部を流れる安威川。橋の上(安威川歩道橋)からの眺めは、見通しがよく吹田のランドマークであるメロード吹田がよく見え、水の音や水面のきらめきなど、心地よい水辺の景観が形成されている。

■丘陵地では、丘の上に建つことから、建物の高さはより高く見えます。平面上だけで計画せず、現地の地形の特性を把握した上で、周囲からの見え方も確認しましょう。



丘陵の上に立地するため、平地からの見かけの高さに配慮しましょう



傾斜地の特性を活かしながら、単調さをなくし、変化に富んだ景観をつくり出している例

■平坦な地形では、敷地の連続感を高めたり、屋根のつくり出すスカイラインを整えて、通りとしてまとまりのある景観にしていくことが大切です。



壁面ラインやスカイラインを整えて、通りとしてまとまりのある景観をつくり出しましょう



勾配屋根の屋根並みが整っている例

■川沿いは見通しが良く、多くの人が眺める場所となっています。川沿いや対岸からの見え方を意識しましょう。



川側は裏側と捉えられがちですが、橋からの眺めを意識し、表情のあるデザインを心掛けましょう



対岸からの見え方も確認しましょう

生きる景観

大規模な建物を建てることや、歴史ある景観を保全することだけでなく、一人ひとりが通りや地域の景観をより良くしようとする取組も「景観まちづくり」です。

市民が主体的に周辺の景観に対して考え、自らまちに働きかける能動的な住み方をすることにより、いきいきと生きていることが実感できる、魅力ある「生きる景観」をまもり、はぐくみましょう。



地域の人々により維持管理されている「フラワーロード」の花壇。季節に応じた彩りある花を植え、歩くのが楽しくなる歩道を演出している。



雨の日でも美しい三色彩道。タイワンフウ、アメリカフウ、トウカエデの3列に列植された並木が紅葉の季節になると3色に染まり、紅葉のトンネルになる。

- 景観は朝、昼、夜の時間の移ろい、雨の日、晴れの日など天候による移ろい、また春夏秋冬の季節の移ろいにより、背景の色彩や環境等が変化することを意識し、この変化により生み出される景観を活かしましょう。



時間の移ろいにより生み出される景観を活かしましょう



季節の移ろいにより、背景の色彩や環境等が変化することを意識しましょう

- 人々がいきいきと暮らしている様子が感じられる景観(生きる景観)がまちの魅力を高めます。年中行事によって移り変わる景観も重要な要素であり、それらの仕掛けづくりも大切です。



団地に住まう人が共用部の庭に四季折々の花を植え、彩りと潤いを感じながら、いきいきと活動しています



公園を散歩したり、会話を楽しむ様子も日々の景観であり、いきいきと暮らしている様子が感じられます



クリスマスシーズンにはイルミネーションで彩られ、変化が楽しめます



生活感がにじみ出るものを上手に隠すデザインを心掛けていきましょう

調和と個性のある景観

本市の景観をより魅力あるものにするために、景域毎の景観の特性を尊重し、調和の中にも個性がある景観をつくり、はぐくみましょう。



千里ニュータウンのまちなみ。開発当時から残された緑や、50年経って大きく成長した街路樹、戸建住宅や共同住宅に配置された緑が連なり、緑豊かな千里ニュータウンのまちなみが広がっている。



高町台住宅のまちなみ。開発時の整った建物デザイン、緑の配置に加え、住民によりきれいに花や緑が維持管理され、温かみのある戸建住宅地の景観が形成されている。

■地域の特色を読み取り、まちなみに調和させ、地域に馴染むものをつくりましょう。また適切に維持管理を行い、良好なまちなみをまもり、はぐくむことが重要です。



歴史的な建物を残し、地域に親しまれるものを次代につないでいる例



イギリスのレッチワースをモデルに開発され、風情ある景観が今も地域によって、まもり、はぐくまれている例



千里ニュータウン開発当時のまちなみを継承しながら、建替えている例



地域の特色を読み取り、ヒューマンスケールのにぎわいのある商業空間をつくり出している例

■まちなみの個性を新たにつくっていくことも地域らしさをつくるきっかけとなります。地域の将来像をイメージし、実現するためのルールづくりも大切です。



個性的なデザインで、壁面の分節などにより周囲の住宅のボリュームに配慮している例



地域の将来イメージを実現させるためにルールを定め、まちづくりをしている例

景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の景域別景観まちづくり方針に基づいた計画・設計を行う

▶▶ 本デザインマニュアル P.4、P.5



・「景観まちづくりの3つのステップ」のステップ1を確認しましょう。

景観形成に関わるガイドラインや方針を有するエリアではガイドライン等を取り入れた設計・計画に努める

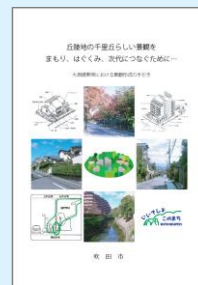
景観デザインマニュアル



景観形成基準に示す建築物等の配置、形態、色彩などの基準の内容について、良好な景観をつくり出すための具体的な方法を、イラストや事例写真等を用いてわかりやすく解説

【対象】全ての景域

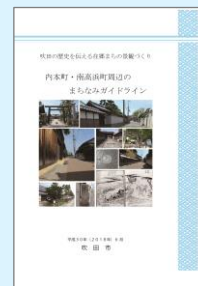
千里丘景観形成の手引き (大規模開発における景観形成の手引き)



千里丘地域にて、開発事業等を行う際に、より良い景観形成を行うための考え方を示し、手引き書としてまとめたもの

【対象】景域5 千里丘界限

内本町・南高浜町周辺のまちなみガイドライン



内本町・南高浜町地域の景観まちづくりに関する基本的な考え方を解説

【対象】景域37 内本町・南高浜町界限

屋外広告物ガイドライン



まちの景観を形成する大切な要素である屋外広告物の配慮していただきたい事項をイラストや写真を使ってわかりやすく解説

【対象】全ての景域 ※広告物・広告塔・サインなどを掲出する場合は特に

千里ニュータウンのまちづくり指針

【対象】景域1 千里ニュータウン界限

上記の内容は令和5年(2023年)3月末時点のものであり、吹田市ホームページからご覧いただけます。